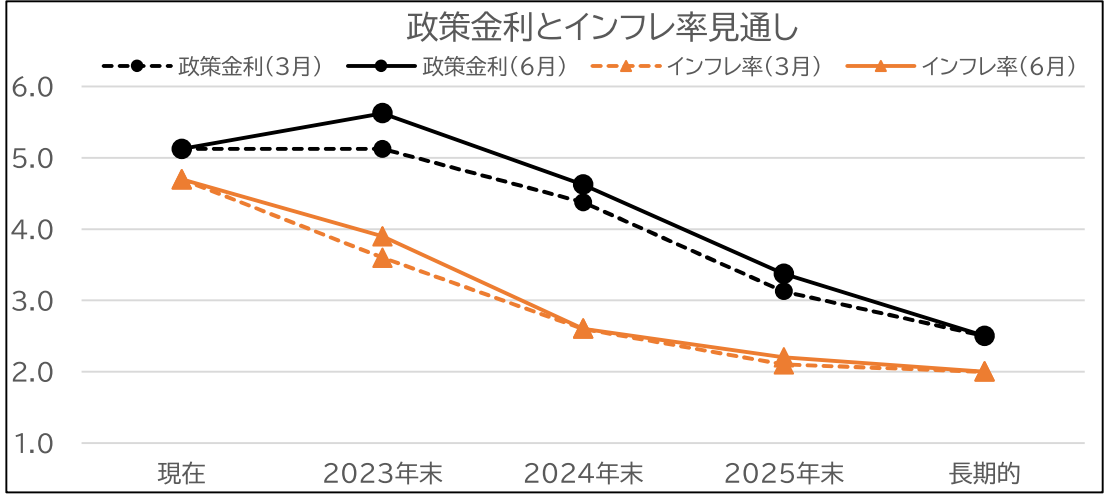
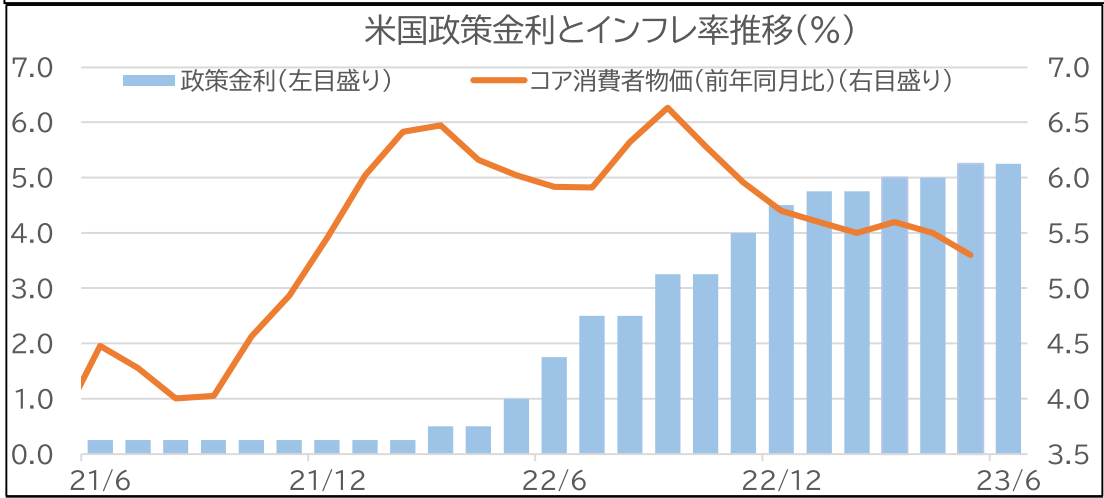


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾  
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳  
6月米国 金融政策

2023/06/19 第 21 号  
朝日田コーポレーション  
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp  
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)日銀資料より作成。

米連邦準備理事会(FRB)は、6月の会合にて政策金利を5.00%~5.25%に据え置くことを決定した。2022年3月会合にて利上げを開始して以来、11会合ぶりの据え置きとなる。パウエル議長は声明文公表後の記者会見にて、据え置きの理由を「再利上げの必要性を判断する前に追加情報の点検に慎重を期すため」と説明した。一方、同時に発表された経済見通し(SEP)では、2023年末時点の政策金利予想が、従来から0.5%引き上げられており、インフレ率の高止まりへの強い警戒感がみられた。労働市場の堅調さを背景に賃金上昇が継続する一方、景況感の悪化を示唆する指標が増え始めており、FRBはインフレ抑制と景気悪化の狭間で難しい舵取りを迫られ続けることとなる。